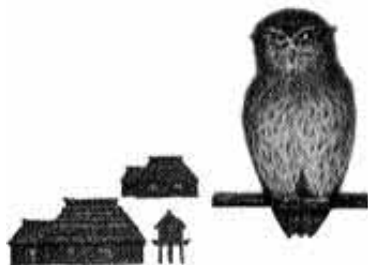


アイヌ民族博物館 北海道白老町若草町2丁目3番4号

コタンメール

第5号 2002. 10. 10発行



先生方のお勉強会

平成14年度胆振管内初任者研修会 アイヌ民族博物館で開催

去る9月19日(木)、胆振管内の新任の先生方17名が「アイヌ民族の歴史と文化」を学習するために訪れました。

展示を見学した後、登別市幌別西小学校の平石先生が「イヤイライケレの世界を散歩しよう」と題して、アイヌ民族博物館を活用した、4年生の総合的な学習の時間の授業実践を発表されました。

授業は本やビデオなどで調べることから始めて、地域のアイヌの人から昔話を聞き、7月9月の2度アイヌ民族博物館で資料のスケッチや踊りを見学。ムックリ作りも体験しました。

まとめは、アイヌ古式舞踊と歌の発表会(学芸会)で、児童も親も先生方も、協力した博物館の伝承者山丸、田下の二人も感動する場面で終了しました。

平石先生は、「児童は、学習の達成感以上に人と人とのつながりの素晴らしさを感じ取った」と結びました。

午後からは、中村館長の「アイヌ民族の歴史と文化」を聞いた後、ムックリの製作を実習。

うまく鳴らせないでいる先生方を前に、見事

に演奏してみせる伊藤職員に拍手がわき起こったりして、1日の研修が終わりました。

その後、苫小牧市立弥生中学校の甲谷先生から次の感想をいただきました。

今回の研修では、以前から大変興味があったアイヌ民族についてのお話や体験を受けることができ、大変感謝しております。私は北海道育ちなのですが、アイヌ民族についてはほとんど知識がありませんでした。

以前、生徒からアイヌ民族について質問され困った経験もあります。

私は中学校で技術を担当しています。竹を使った工作としてムックリを教材として、今回の研修を生徒に還元したいと考えています。

胆振管内の各学校で教鞭をとられる新任の先生方が、今後もこの博物館を活用されて、アイヌ民族やその文化の理解に力を尽くしていただきたいと願っています。

収蔵資料展

アイヌの編み文様

10月5日(土)～1月15日(水)

天然の素材から美を編み出す暮らしのアート
刀を吊る帯を中心に約60点の資料に見る

催事

秋のコタンノミ

(自然の恵みに感謝する儀式)

11月16日(土) 13:30～
博物館ポロチセ

来館者の感想

- ◆7月11日 木曜日
四日市市 10代 男性
とても興味深くて、一層、アイヌに関心がもてました。
- ◆7月13日 土曜日
奈良市 50代 男性
非常に良かったです。
- ◆7月21日 日曜日
白老町 10代 女性
もっとイベントがあるといいと思う。
- ◆7月27日 土曜日
不明
国際でんわがほしい。
- ◆7月28日 日曜日
30代 男性
初めてこの資料館を見せてもらいました。そしてアイヌ舞踊を見た時、ちょうど韓国の人たちもいたんです。その時自分は日本人は50年前韓国の人たちにもはくがいをし、韓国は戦後独立してこうやって日本に来て楽しそうにしているけど、100年前大和民族にはくがいされ土地をうばったアイヌの人たちにはいまだ何もせず、この北海道も日本の一部としている。でも本来はアイヌ民族の土地であることをみんな忘れてる。今日韓国の人とアイヌの人を見くらべてそうゆうことあまり気にせずにいる人たちが多いことが気になった。でも日本人のやってきたことはやはり悪い事だし、私は日本人と恥としたい。
- ◆8月5日 月曜日
台湾
すばらしい。
- ◆8月6日 火曜日
八戸市 30代 男性
すばらしい。
- ◆8月7日 水曜日
仙台市 30代 男性
すばらしいです。
- ◆8月10日
東京都 40代 女性
とても興味深かったです。もっとゆっくり見ていたかった。博物館がとてもよくできてわかりやすかった。
- ◆8月17日 土曜日
札幌市 10代
くまがかわいい。
- ◆8月20日 火曜日
小平市 10代 女性
江戸時代に使われている道具がたくさんあったのでびっくりしました。
- ◆8月23日 金曜日
札幌市 30代 男性
もうちょっとinterestingな事があると、enjoy出来ると思います。
- ◆8月28日 水曜日
苫小牧市 20代 女性
とても興味深いものが多くあり、よいと思うが、漠然とアイヌ民族についてのモノ、コトというイメージが大きく、専門性に欠けると思う。例えば衣服にしても、胆振地方と北見地方では、紋様等の形式というものには多かれ少なかれ違いがあると思う。そういった点をもっと細かく分類してほしい。アイヌの中にも地方色が大きくあるということを示したほうが良いのではないかな。

■編集者の言葉



来館者のご意見をご紹介しました。博物館は人によって違った印象を与えます。賛同も批判も、博物館の目的が果たされたかどうかをはかる物差しになりますので、私たちは短い文章のかけに潜む来館者の願いを読みとって、明日の活動に生かしていきます。皆様のご感想は？（中村 齋）